

西中だより

平成28年度 No.23
平成28年12月 5日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 模擬議会に橋本市長さん、柳沼教育長さんが来校！！ &&&

○ 11月24日（木）に橋本克也須賀川市長さんと柳沼教育長さんをお迎えして、本校の多目的ホールに置いて模擬議会を開催しました。内容は10月22日の文化祭で選挙によって選出された佐藤心太西袋市長の所信表明演説と2名による代表質問です。佐藤心太市長さんは演説の中で次のことを述べていました。{①街の美化政策に力を入れ、きれいな須賀川を実現する。②行政コスト削減のため、議員報酬と市長の報酬を日当制にする。③須賀川の農産物の出荷量を増やす。} 生徒達は大変熱心に話を聞き、将来の須賀川市について考えを述べていました。また、橋本市長さんからも生徒の質問に対して、丁寧な答弁をいただきました。以下、学習した後の生徒の感想を紹介いたします。

男：橋本市長さんの話を聞いていて、共感できるものが数多くありました。「結」は機械化などが進んだ今、失われつつあるのではないかと思います。しかし、東日本大震災で被害者となった私達が支え合い、助け合うことができたということは「結」は人の心にしっかりあるのだなと感じました。

女：この度、橋本市長さんの話を聞くことができ光栄なことだと思いました。私も将来須賀川市民として橋本市長さんとよりよい須賀川市をつかっていきたいと思いました。市長さんの話を聞いて江戸時代に須賀川が宿場町として栄えたこと、夏秋きゅうりが日本一の出荷量だということが分かりました。

男：僕は市長さんに「僕の考えたキュウリマンは使えますか？」という質問をしました。この質問に熱心に答えていただき本当にありがとうございました。私達が知らないところでも須賀川市のために頑張っている市長さんを僕はとても尊敬できる存在だと思います。

女：今日の議会に参加して、自分の意見を持ち、よく考え、発表できる人が素晴らしいと思いました。橋本市長さんは須賀川市や市民のことをよく考えてくださる方だと思いました。市民の声に耳を傾け、市民との協働のまちづくりに努力してくださっている市長さんは“ウルトラマン”のようだと思います。



今学校では（写真で部活動の様子を紹介）##・・・No.24号、25号で掲載します。

《 校長のつぶやき 》・・・生活の中のルーティン (routine) を見直そう！！・・・

○ ラグビー選手五郎丸の活躍で有名になった言葉がルーティン (ルーチン) です。その意味は「いつもの手順、日常の仕事」です。なぜその言葉が有名になったのか不思議です。と言うのも、私は、「ルーティン=生活習慣」と置き換えれば、同じことだと思っていたからです。

○ 1日の行動は、「起床から始まり、着替え、洗顔、朝食、登校・学校生活・授業、部活動、下校、帰宅してから着替え、学習、夕食、お風呂、就寝」というように決まっています。この順序は家庭により多少は違っていても、おおよそは決まったものになり各家庭におけるルーティンになるのだと考えます。一連の流れとなってしまうと、大きく崩れることはないのですが、その一つ一つの取り組みになるとうまくいかないものが出てきます。

○ それは個人の責任に任される部分です。例えば、「起床」にしても時間通りに起きられないと、次の動きに様々な影響が出て来ます。起床が遅くなり、着替えや洗顔に追われると、次に朝食が遅れ、登校時間が迫り、十分に食べないで登校するようになります。朝食を十分に摂らない状態では、ガソリン不足の自動車と同じで、学校生活の中でも本来の力は発揮できません。

○ 私が一番心配するのは、「ルーティン=生活習慣」の乱れが原因で、本来の力が発揮できずに成果が出ないことを、自分には能力がないから、どうせ頑張っても駄目だからと思いこんでしまう生徒がいることです。スタート前の準備がきちんとできていなければ、どんなに力が備わっていても本来の力は発揮できません。焦らずに、もう一度自分の生活のルーティンを見直してみてもいいのではないでしょうか。